

ROTARY CLUB OF

NARA—WEST

DISTRICT WEEKLY BULLETIN
2650 No. 2470

2023. 3. 30

創立 1969年(昭和44年)12月13日

例会日 毎週木曜日18:00より

事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地

例会場 奈良ロイヤルホテル内

TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2022～2023年度
国際ロータリーのテーマ

2022～2023年度
地区のスローガン



「感動、感激、そして感謝」

国際ロータリー会長
ジェニファー E. ジョーンズ

RI第2650地区ガバナー
尾賀 康裕



霊山寺 十一面観音

会 長 渡邊 巖	副 会 長 吉村 信男	会長エレクト 中西 吉日出	直前会長 植野 洋志	幹 事 相澤 万裕子
会 計 東山 光秀	会場監督 加藤 又弘	理 事 福川 益則	理 事 寺田 信弘	理 事 安井 清悟
理 事 内藤 源美	会報委員長 金田 宗寛			

今月は 水と衛生 月間 です

第27回(2470回)例会プログラム令和5年3月30日(木)

1. 開会宣言 点鐘
2. ソング 「我等の生業」
3. 来訪者紹介
4. 出席報告
5. 会長の時間
6. ニコニコ報告
7. 委員会報告・幹事報告
8. 第3回クラブデー
「下村会員還暦御祝の会」
9. 閉会宣言 点鐘

第26回 (2469回) 例会報告 2023. 3. 16

ソング

「ロータリーって何だろう」

来訪者紹介

奈良県教育委員会人権・地域教育課地域教育係指導主事 竹中基展様
随行者 地域教育係長 後藤克久様
米山奨学生 関 嵐月さん

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通 算 2469 回	42	6/8	24/34	10	75.0%
通算2467回修正	42	8/8	34/34	0	100.0%

会長の時間 (渡邊会長)

皆さん、今晚は。

今週12日(日)に米山奨学生の終了式・歓送会が京都で開催され、当クラブから関 嵐月さんと加藤又弘カウンセラーが出席されました。関さんはこの3月で米山奨学生終了になりますので、後ほど一言ご挨拶お願いいたします。また布崎嘉樹会員も3月で転勤退会となりますが、3月30日の例会出席が最後になりますので、その時に一言ご挨拶お願いいたします。

13日(月)は当クラブと友好クラブである国際ロータリー第3461地区台中中区RCから次年度会長オルトご夫妻(歯科医で、大学の歯科矯正学教授)、次年度幹事ゲンキご夫妻(薬剤師で、今は薬草関係の食品販売)、P会長デザインご夫妻(土木・建築関係)の計6名が奈良にお越しくださいました。午前中は当クラブの有馬P会長、谷垣会員、川野会員、榎木会員、寺田会員らの案内で、少し寒かったようですが、吉野の金峯山寺にお参りされました。その後18時からは霊山寺にて歓迎会を行いました。クラブからは14名の会員が参加されました。また2013～14年度米山奨学生として奈良西RCがお世話した曾 環恵さんが通訳としてお手伝いして頂きました。曾さんは、奈良女子大学で博士号を取得され、現在奈良女子大の助教として、また日本と台湾の相互理解・友好発展に頑張っておられます。そして歓迎会は3時間にわたり両クラブの友情・親睦を深めるのに、非常に良い機会となりました。ともに歓迎・歓待のおもてなしの心にあふれた国民性を感じました。

2024～25年度の当クラブ創立55周年記念式典にはぜひ参加をお願いいたしました。また台中中区RCからは今年11月26～28日に予定している秋の花蓮旅行(2泊3日)に奈良西RCからの参加要請がありました。本日案内を回覧いたしますので、会員の皆様ご検討ください。なおアルコールの乾杯・一気飲みの熱烈歓迎は遠慮しても構わないとのことですので、心置きなく参加してください。

さて本日は奈良県教育委員会 人権・地域教育課 地域教育係 指導主事 竹中基展様に「地域と共にある学校作りについて」というタイトルで卓話をお願いしています。当クラブは今までに登美ヶ丘北中学校区 地域教育協議

会長の時間(続き)

会のクリスマス会や凧作り体験や凧揚げ大会などの事業に協賛して参りました。本日の講演が今後の青少年奉仕への参考になればと考えています。竹中様よろしくお願いいたします。これで会長の時間を終わります。



幹事報告 (相澤幹事)

例会変更情報は入口横に掲示していますのでご確認ください。

米山奨学生



3月12日(日)に京都東急ホテルにて、「米山奨学生 終了式・歓送会」が開催され、加藤カウンセラーと、関 嵐月さんが参加致しました。

ニコニコ報告

渡邊巖会長

今週13日(月)の台中・中区RCとの歓迎会は、非常に楽しく過ごすことができ、両RCの友情を深めることが出来ました。御出席の会員の皆様ありがとうございました。本日卓話をお願いしております奈良県教育委員会、指導主事の竹中様よろしくお願い致します。

林秀彦P会長

13日は台中中区RCの皆様の訪問を受けて久々の楽しい一時を過ごすことが出来ました。東山会員ありがとうございました。本日は、県教育委員会竹中先生には「学校づくり」についての卓話楽しみにしています。

三木武彦P会長・中西吉日出会員・谷垣嘉輝会員・佃尚彦P会長・猪上正孝会員・松山悦啓会員・松中隆会員・野阪幸男会員・小松玲子会員・福川益則会員・木村和弘会員・加藤又広会員・岡崎義幸会員
奈良県教育委員会 人権・地域教育課地域教育係
指導主事竹中基展様、本日の卓話よろしくお願い致します。

東山光秀会員

台中中区ロータリークラブの方々との懇親食事会並びに金峯山寺の参拝お疲れさまでした。



～関 嵐月さんよりメッセージ～

大変お世話になりました。
ありがとうございました。

「地域と共にある学校作りについて」

奈良県教育委員会人権・地域教育課地域教育係指導主事 竹中 基展 様

なぜ、地域と学校の連携・協働が必要なのか？

背景 時代の変化に伴い
学校と地域の在り方が変化

- ◆教育環境を取り巻く状況
 - 児童生徒数の減少
 - 子どもの規範意識等への課題
 - 学校が抱える課題の複雑化・困難化
- ◆社会の動向
 - 少子高齢化の進行
 - グローバル化や情報化の進展
 - 地域社会のつながりや支え合いの希薄化による地域の教育力の低下
- ◆教育改革の動き
 - 「社会に開かれた教育課程」の実現など
- ◆地方創生の動き
 - 学校を核とした地域の活性化

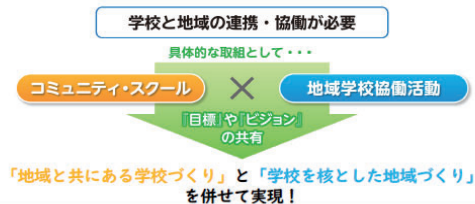


子どもたちは様々な課題を解決しながら生き抜かなければなりません！

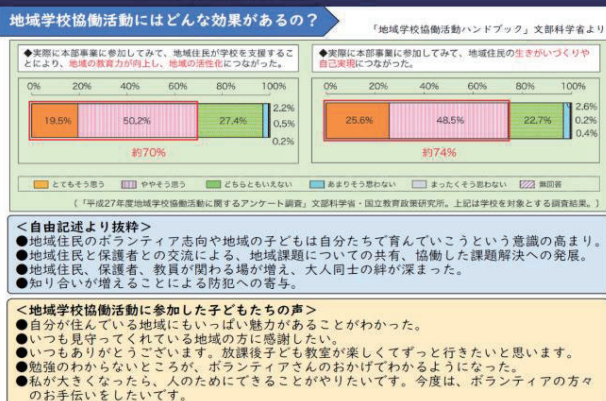
なぜ、地域と学校の連携・協働が必要なのか？

「誰かが何とかしてくれる」のではなく、自分たちが「当事者」として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。子どもたちのために学校を良くしたい、元気な地域を創りたい、そんな「志」があつまる学校、地域が創られ、そこから、子供たちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こそ、**これからの未来の姿である。**

【平成27年12月の中央教育審議会の答申のまとめを引用】



地域学校協働活動について



これからの「地域と共にある学校づくり」

地域学校協働活動の深化・充実のためのポイント

①「地域学校協働活動」に対する当事者意識の向上

「頼まれたから、やっている」 ➡ 支援

「自分事」としてとらえる ➡ 協働

学校の中だけで教育が完結する時代ではない！

私たちの未来を担ってくれる子どもたちがどんな人材に育つか。それは、未来の社会がどうあって欲しいのかということイコールであり、全ての大人の責任である。

全ての人が子どもたちの教育に関心をもち、参画し、未来を見据え、よりよい社会を目指して共に力を尽くす



地域学校協働活動について



これからの「地域と共にある学校づくり」

今後は・・・

○地域学校協働活動の深化・充実

○コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と地域学校協働活動の一体的な推進

そのためのキーワードは、

—「支援」から「協働」へ—

協働…立場の異なる人たちが、同じ目的のために（目標に向けて）対等の立場で協力して共に働く（人として動く）こと。

学校が変われば 地域が変わる

地域が変われば 子どもが変わる

子どもが変われば 未来が変わる

御清聴ありがとうございました。

台中中区RC歓迎会

3月13日(月)に霊山寺にて、台中中区RC歓迎会を開催致しました。



奈良西RC通信41

奈良新聞3月16日掲載

奈良西 55周年に向けて

ロータリークラブ 通信 41

高い倫理観で奉仕理念奨励

ロータリークラブは高い倫理観を持った職業人の集まりで、その目的は奉仕の理念を奨励し、これを旨とするにある。具体的には四つ、①知り合いを助けること、②職業上の機会を拓くこと、③職業上の高い倫理観を保持し、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリー各員の職業を高潔なものにする④ロータリー一人一人が個人として、また、事業および社会生活において日々、奉仕の理念を践ずる⑤奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通して国際理解、親善、職業奉仕功労者表彰

平和を推進するである。そして活動の土台となる奉仕活動は「クラブ」「職業」「社会」「国際」「青少年」に分かれている。中でも職業奉仕はその核となるもので、ロータリーがそれぞれの職業を通して世のため、人々のために奉仕し、高い道徳的水準を保つこととされている。「世のため、人々のために奉仕をする心をもって、職業を営むべし」ということだ。

当クラブでは毎年1月にこのようないきいきとした奉仕をされている方を会員の推薦により職業奉仕功労者として表彰している。

本年度は、奈良交通で21年間乗り合いバスの運転者として表彰された牧師の宮谷氏(左)と渡邊氏(右)を表彰し、平成30年に女性初の指導運転者となり運転者育成に尽力されている中村知加子氏、奈良女子大学で36年間カフエテラス・ライムを天婦で営まれ、地域に憩いの場を提供されている徳田正治氏をお祝い、保育園や療養施設の設立、運営に携わり、教諭として活動されている宮谷氏(40年)以上、にわたり地域の大学、学校、企業にOA機器やオフィス用品販売を通して職業奉仕を続けておられる梅松園の外嶋健民氏の5人の奉仕活動を認め、表彰した。

毎月第3木曜口掲載予定

第28回(通算2471回)例会予告
例会日 令和5年4月6日(木)

第12回理事会

卓話: 昆虫科学研究センターISRC代表
渡部 宏 様(農学博士・気象予報士)

(担当: 金田・オフォス)